

所有する調査用ボーリングマシン

機械名		掘削能力	数量
地質調査用 ボーリングマシン	東邦 DM-03	30m±	2台
	YBM 05DA-2	50m±	4台
	東邦 D0-D		3台
	YBM YSO-1HA	100m±	1台
	東邦 D-1		5台
	東邦 D2-G	200m±	1台
	NLC L-28	300m±	1台
エコマシン	YBM Eco-1V II	7m±	1台
超軽量・分解型小型 ボーリングマシン	YBM YHP-1（エンジン式）	10m±	2台
	YBM YHP-1（電動式）		1台
簡易ボーリングマシン		5m±	3台

所有する孔内試験装置

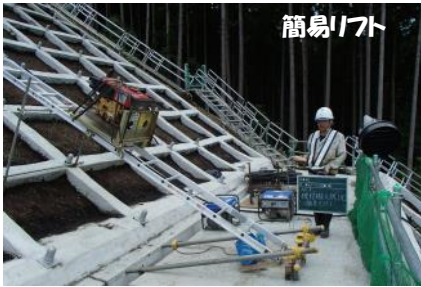
機器名		適用範囲・規格	数量
標準貫入試験器（半自動）			9台
孔内水平載荷試験器（LLT・オートLLT）		低圧	各1台
孔内水平載荷試験器（エラスト・オートエラスト）		中・高圧	各1台
地下水検層器			1台
地下水位測定器			20台
孔内微流速測定器	応用地質株式会社製		2台
孔内流向流速測定器	株式会社ジオファイブ製		1台
ボアホールカメラ	LAVAL UNDERGROUND製	0～300m	1台
ボアホールスキャナー	株式会社ボア製	0～200m	1台

所有する運搬機械

機械名	摘要		数量
モノレール	株式会社ニッカリ製	モノレール延長 318m	1式
	光永産業株式会社製	モノレール延長1,032m	3式
簡易リフト		積載荷重135kg・160kg	各1台
運搬車	大型	最大作業能力1,000kg	1台
	中型	最大作業能力400kg・750kg	各1台
	小型	最大作業能力250kg	3台



モノレール



簡易リフト



運搬車



機材センター事務棟



機材センター倉庫棟



機材センター倉庫棟内部



機材センター倉庫棟内部



機材センター倉庫棟内部



鉛直



斜掘



大規模仮設

調査ボーリングとは

調査ボーリングは地質調査の最も基本となる要素技術で、私達の業務の半数以上を占めています。ボーリング孔は、地下を掘削してコアを採取するだけでなく、地質・地下水状況を調べるための試験孔として使用します。八洲開発ではボーリング孔で実施する基本的な孔内試験装置は原則として自社で保有することにしています。そして、教育・訓練を受けたボーリングフォアマンが地質・岩盤状況の変化に応じて、何時でもスピーディに孔内試験を実施できるようにしています。

ボーリングフォアマンは、ボーリングマシンを運転してコアを採取するだけの仕事を担当しているわけではありません。掘進時には掘削スピード、ビット圧、マシンの振動や循環水の量や色の変化などを把握して地質解析に生かすなど、いわゆる知識集約型の仕事を同時に行っています。まさに地質調査の最前線の技術者がボーリングフォアマンであると言っても過言ではありません。

ボーリングコアはコア箱に収めて提出されますが、掘進中に得た地質・地下水情報はボーリング日報として電子化され、日々顧客に報告されます。なお、当社のボーリング日報システムでは日報から何時でも仮柱状図を作成してお届けすることができるようになっています。



調査ボーリングの流れ



孔内試験装置



※八洲開発のボーリングフォアマンは、これらの機器を上手に操作することができます！！

ボーリングコア



ボーリング日報システム

【諸元入力画面】

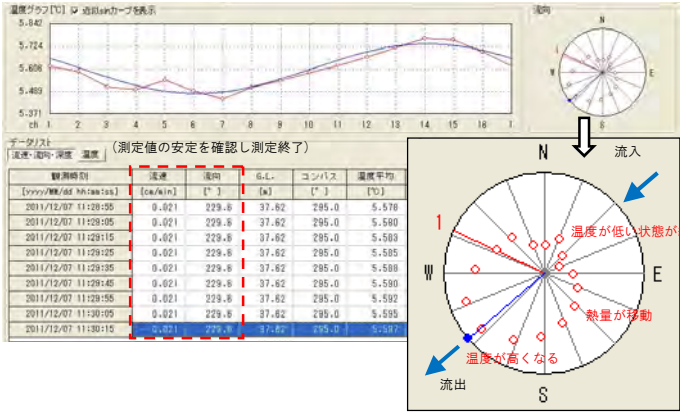
日付	2017年07月24日
天候	晴
機名	
機主	
作業時間	8:00 ~ 17:00
試験機	TR-100
エンジン	1000cc
ポンプ	1000cc
試験機	TR-100

【完成日報図】

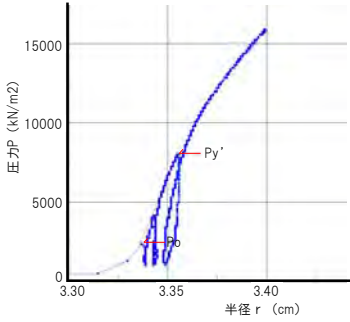
項目	内容
試験機	TR-100
エンジン	1000cc
ポンプ	1000cc
試験機	TR-100

孔内試験結果の一例

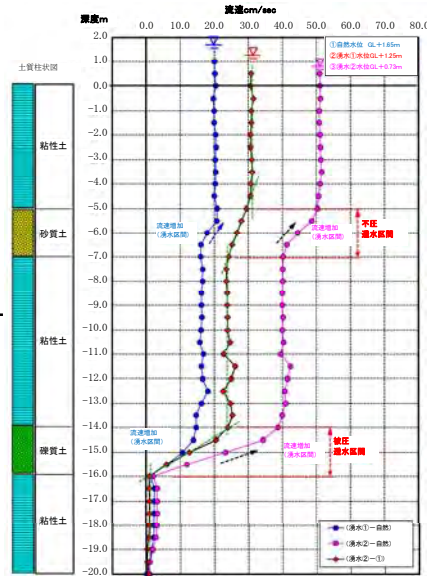
地下水流向流速測定結果



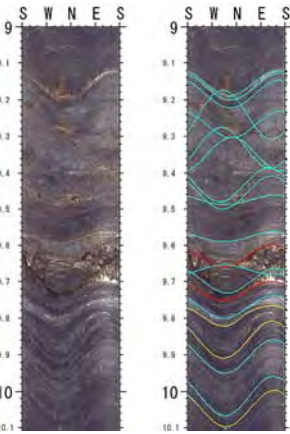
オートエラスト試験結果



孔内微流速測定結果



ボアホールスキャナー展開図



ボアホールカメラ画像



地質断面図

